

元気 パワー
*** GP 農法だより ***
 無農薬自然農法 元気パワー農法

発行 GP 農法研究会 NO14
 代表 佐藤 陸
 〒344-0041 埼玉県春日部市増富 243-53
 TEL 090-4672-1285 TEL 048-763-5362

《GP 農法セミナー報告 2013年1月14日》

1月14日、大雪の中2013年、年始めの「GP農法セミナー」が開催されました。悪天候のため参加者は14名でした。今回のセミナーは、土、野菜、人の「パワー＝気力」がよく理解できたのではないのでしょうか。

セミナーでは「・・・現代・近代農業で長い間、化学肥料と農薬中心の農法で土づくりを軽視してきたため、土壌中の土着微生物を徹底的に弱めてしまいました。その為、土に元気が無くなり、害虫や病気をはこびらせることになりました」として、開発した「GP農法(元気パワー農法)」の説明に入りました。

- ① 第一に、土着の微生物を元気にさせるために、漢方の「靈芝」のもつエネルギーを活用できるようにしたこと。(特別な処理加工を施す)
 2千数百年に中国で編纂された漢方の書「神農本草経」からヒントを得て、「靈芝」で土着微生物を元気にさせることが可能になった。
- ② その後草のもつエネルギーを抽出し、「雑草エキス」として活用できるようにしたこと。
 土壌微生物のエサとして「モミガラボカシ」や「オガクズボカシ」を1か月で製造する方法や、強烈なエネルギーで雑草のエキス(抽出物)を約7日間で抽出・製造することに成功した。

【「雑草エキス」について】

- (1) 2012年10月上旬に埼玉農民連埼葛支部が全国各県農民連にサンプルとして送付しました。作り方や使用する雑草の種類、活用法などについては、小冊子「元気パワー農法」や説明書を参照してください。その気になれば誰でも製造できます。
- (2) 農薬との併用は効果が出ませんから避けてください。
 アミノ酸液との併用は光合成が促進するので効果があります。

(3) 「雑草エキス」の試用、試作について
 面積1アールで特に病害虫の出る圃場で行ってください。グループのリーダーの方々は自分で試作して効果が出るとみんなに紹介する機会が多いと思いますが、グループの中で一番条件の《悪い》ところで、それぞれで試作してみて、その良さを伝えて欲しいのです。失敗には必ず理由があります。期待どおりに成功しなかった方は「GP農法研究会」にご相談ください。アフターフォローを大切にしており、必ず成功できるという確信を持っています。

【「土」と「野菜」でパワーの実験】

セミナーに参加した生産者が持参した自分の圃場の耕土(100～200グラム)で「パワー」の実験をしました。すでに「GP農法」を実践している方の「土」とそうでない方の「土」のどちらがパワーがあるのかの実験でした。「GP農法」の野菜とスーパーの野菜の「力比べ」も行いました。この方法は誰にでもできる簡単な方法です。

【「GP農法」を採用したイチゴ農家…着色順調】

今、イチゴ生産者は悪天候のため色つきが悪いと悩んでいます。春日部市下吉妻では、2名の方が「GP農法」でイチゴを栽培しています。色つきも順調で売値は近所の生産者よりも高値で出荷していますが、品質が良いため消費者に喜ばれています。付近の生産者のイチゴは色つきが遅く出荷も遅れているようです。地温を上げる「乳酸菌モミガラボカシ」の効果も作用しているのではないかと、「GP農法」を採用しているイチゴ生産者は話しています。



埼玉県春日部市下吉妻 イチゴ農家

《「GP農法」への関心が高まっています》

「GP農法研究会」は通信「GP農法だより」を、主に農民連会員や支部など農民連関係者 150 ヶ所に送付しています。毎月 1～3 人ほどから資料請求があります。昨年 11 月以降急に請求が増え 1 月中旬までで 18 件となり、「GP農法」への関心が高まってきたようです。

1 月 21 日～23 日に開催された、農民連全国大会に参加した全国の会員からは、「送られている『GPだより』を読んでいるが、あんなに効果があるとは信じられない」と深い関心を寄せて頂きました。

【春日部市長が「GP農法」による黒豆の生産現場を視察】

昨年秋、石川春日部市長が「黒豆の生産現場」を農政課職員と同伴で視察に来られました。市長も関心をもたれたようです。

また、4～5 件の一般の生産者の方から「ちぢみほうれん草やイチゴ栽培の圃場を見たい」「モミガラボカシや雑草エキスの製造現場を見たい」との要請が研究会にきています。

【東南アジアにも普及！！】

タイ、ミャンマー、フィリピン、ネパール、中国、バンラデッシュ、ベトナムなどからも「GP農法」の指導要請が来ています。タイではすでにテストを行っており、その効果が歴然と認められました。今年は具体的な活動へつながる予定です。

またネパールでは、国連代表の方や元国連大使の方々が協力をしてくださり、20 年現地で活躍されている方に GP 農業用セラミックが手渡されました。気温が高くなってきたら、ドリマラ村で若者を集め堆肥づくりをやるそうです。GP 農法推進プロジェクトは、6 月上旬に直接お会いしてネパールでの普及活動に力を注ぐ予定です。

【GP農法関連資材と資料の請求方法】

- * 無農薬自然農法・元気パワー農法（総括）
A4 カラー 18 枚
- * 土壌微生物のパワーの効果について
A4 カラー 5 枚
- * 雑草エキスの使い方と効果・効能
- * GP 農法用雑草エキス 500 cc



コピー代 200 円、雑草エキス 3,000 円、
送料 600～1,100 円

切手をお送りください。ご注文を受け次第、発送します。

一連の「GP農法資材」は、発注書にご記入の上、下記まで FAX して下さい。代金は、商品が到着後 7 日以内にご入金お願いします。

初めて GP 農法に取り組まれる方は、まず 1～3 アール分程をご注文して、試作の上ご納得してから発注するか、毎月春日部市内で開催しているセミナーにご出席頂いて、ご理解を深めてからご注文ください。セミナーについては、ご希望のあるところには講師を派遣いたします。

お問い合わせ・ご請求先 佐藤 陞
〒344-0041 埼玉県春日部市増富 243-53
TEL 090-4672-1285 TEL 048-763-5362